

中学校 全学年

【戦争と平和 6】

☆こんな本を希望

戦争に関するシリーズ本

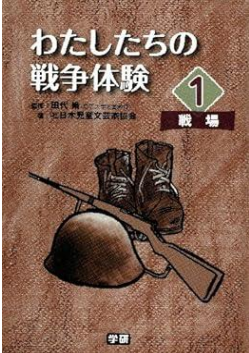

☆図書館で準備できる本（全10シリーズ）




	書名・著者・出版社	内容
1	<p>語り伝えるアジア・太平洋戦争 ビジュアルブック 吉田裕/文・監修 新日本出版社 2011.12</p> <p>第1巻 開戦への道のり 第2巻 アジア・太平洋戦争の開戦 第3巻 戦時下、銃後の国民生活 第4巻 空襲、疎開、日本の敗戦 第5巻 おわらない戦後と平和への道</p> 	<p>アジア・太平洋戦争の真実を豊富なビジュアルで伝える。</p> <p>第1巻では、柳条湖事件、満州国の建国、日中戦争の勃発、日独伊三国同盟の締結など、開戦への道のりをたどる。</p> <p>第2巻では、マレー半島と真珠湾への奇襲攻撃、大東亜共栄圏の実態、連合軍の反撃など、開戦直後のできごとをたどる。</p> <p>第3巻では、東条独裁の成立、言論の統制、陸海軍の総兵力の増大、戦争経済の崩壊など、戦時下、銃後の国民生活をたどる。</p> <p>第4巻では、マリアナ諸島の陥落と東条内閣の退陣、特攻隊の実像、本土決戦準備など、ガダルカナル島撤退から敗戦までのできごとをたどる。</p> <p>第5巻では、復員と引揚、サンフランシスコ講和会議、戦争犠牲者への補償など、敗戦直後や戦後のできごとをたどる。</p>
2	<p>わたしたちのアジア・太平洋戦争</p> <p>1 広がる日の丸の下で生きる 2 いのちが紙切れになった 3 新しい道を選ぶ</p> <p>古田足日/編:米田佐代子/編: 西山利佳/編 童心社 2004.3</p>	<p>戦争加害者の視点、女性の視点から戦争を見直し、アジアの人々の体験も収録。総ルビ、解説、豊富な写真等で立体的に構成。</p> <p>1は日本が侵略によってアジア支配を拡大していった時代の、日本及び中国や朝鮮の人々の体験を収録。</p> <p>2は戦争が泥沼化する中での餓死、空襲、特攻隊、被爆、従軍慰安婦にさせられた女性の体験等を収録。</p> <p>3は被占領期の事、敗戦後の反戦平和への努力と思想、戦争責任と向き合って生きる人々の体験等を収録。</p> 

<p>3 語りつごうアジア・太平洋戦争</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 満州事変 日本が戦争をはじめた 2 日中戦争 だろぬまの戦争へ 3 第二次世界大戦 日独伊世界を相手に 4 ニイタカヤマノボレ 1208 日本軍がハワイを攻撃 5 ミッドウェー海戦 解説されていた暗号 6 ほしがりません、勝つまでは 苦しくなる国民生活 7 学徒出陣 戦場に散った若いいのち 8 ひめゆり学徒隊 沖繩が戦場に 9 1945年8月15日 日本が負けた日 10 日本の憲法 平和への願いをこめて <p>和歌森太郎ほか/編集 岩崎書店 1995.1</p>	<p>1931年の満州事変、日中戦争、太平洋戦争を経て45年の敗戦まで15年間のアジア太平洋戦争。これを子どもたちに語り伝えるために編んだ。</p> <p>第1巻は満州事変を取り上げる。 第2巻は満州事変から日中戦争を始めるまで。 第3巻は日中戦争の初め頃から、ドイツが第2次世界大戦をひきおこすまで。 第4巻は大政翼賛会を作った頃から、アメリカ・イギリスに開戦するまで。 第5巻は日本軍の初めの勝ちいくさの頃からやがて敗色が濃くなりだす頃まで。 第6巻は、日本の軍人以外の人々の苦労や、中国・朝鮮・ベトナム等の様子を描く。 第7巻は日本の負けいくさがはっきりしてから敗戦直前までの物語。 第8巻はアジア太平洋戦争末期の日本の断末魔の状況が描かれている。 第9巻は、敗戦をはさんで起こった国内国外の様々な事件の様子を描く。 第10巻は、敗戦直後から、平和憲法で日本が民主国家として出発するまでを描く。</p>
<p>4 シリーズ戦争 子どもたちが綴った戦争体験</p> <p>第1巻 勝って来るぞといさましく 日中戦争開戦</p> <p>第2巻 身を捨てて、国を守る アジア・太平洋戦争がはじまった</p> <p>第3巻 学校は戦場だ! ほしがりません 勝つまでは</p> <p>第4巻 最後まで、勝利を信じて 本土決戦、焼土と化した日本</p> <p>第5巻 平和な地球世界をめざして</p> <p>村山士郎/著 新日本出版社 2021.9</p>	<p>戦争とは何だったのか。その時、子どもたちはなにを思い、考え、どう戦争を支えていたのか。子どもたちが当時綴った作文から読み解く。</p> <p>第1巻は、日中戦争開戦や満蒙開拓青少年義勇軍などに関する作文を収録。</p> <p>第2巻は、アジア・太平洋戦争開戦や敗戦、特攻隊、靖国神社などに関する作文を収録。</p> <p>第3巻は、国民学校、軍国少年少女、銃後の家庭や地域の生活などに関する作文を収録。</p> <p>第4巻は、空襲、学童疎開、広島・長崎への原爆投下などに関する作文を収録。</p> <p>第5巻は、敗戦、憲法九条、戦後沖繩、地球環境などに関する作文を収録。</p>



<p>5</p>	<p>絵本版おはなし日本の歴史 金子邦秀/監修 岩崎書店 2016.3</p>	<p>21 昭和の戦争 国内の経済・政治問題や、中国大陸進出など、国の内外ともに大きな問題に直面していた昭和の幕開け。軍部主導の専制体制で日中戦争、アジア太平洋戦争へと突き進んでいった昭和の戦前期の歴史を、読みやすい絵本で紹介する。</p> <p>22 アジア太平洋戦争 子どもたちから見たアジア太平洋戦争とは。横浜港ドイツ軍艦爆発事件や、学童集団疎開、学徒勤労動員、戦時下の生活、空襲など、アジア太平洋戦争の銃後のようすを、読みやすい絵本で紹介する。</p>
<p>6</p>	<p>わたしたちの戦争体験</p> <p>1 戦場 2 家族 3 学校・遊び</p> <p>4 疎開 5 空襲 6 沖縄 7 原爆</p> <p>8 終戦 9 引揚 10 成長・発展</p> <p>田代脩/監修:日本児童文芸家協会/著 学研教育出版</p>	 <p>戦争体験を伝え、戦争について考えるきっかけとなる本。用語の解説や写真、資料ページも充実。総ルビがふられ、読みやすい。体験が物語ふうに描かれている。</p>
<p>7</p>	<p>100人が語る戦争とくらし</p> <p>1 子どものくらし</p> <p>2 家庭のくらし</p> <p>3 戦地のくらし</p> <p>大石学/監修 学研プラス 2017.2</p>	<p>日中戦争から太平洋戦争、敗戦・復興まで、戦争中に使われた道具や言葉を、子どものくらしを中心に上げ、写真や地図、イラストとともに紹介する。戦争体験者のインタビューを元にしたまんがやお話も収録。見やすい。基本的なことがわかる本。</p> 
<p>8</p>	<p>シリーズ戦争孤児</p> <p>1 戦災孤児 駅の子たちの戦後史</p> <p>2 混血孤児 エリザベス・サンダース・ホームへの道</p> <p>3 沖縄の戦場孤児 鉄の雨を生きぬいて</p> <p>4 引揚孤児と残留孤児 海峡を越えた子・越えられなかった子</p> <p>5 原爆孤児 ヒロシマの少年、ナガサキの少女</p> <p>汐文社 2014.7</p>	<p>戦争によって身寄りを亡くしたり、親と生き別れたり、親から棄てられたりして孤児となった「戦争孤児」。</p> <p>1は、戦災や戦後の貧困などで身寄りを失った戦災孤児たちの様子を多数の写真とともに伝えます。</p> <p>2は、戦後、日本を占領した米軍兵士と日本女性との間に生まれた混血孤児たちの様子を多数の写真とともに伝えます。</p> <p>3は、戦中、戦後の沖縄の戦場孤児たちの様子を多数の写真とともに伝えます。</p> <p>4は、引揚げの中で身寄りをなくした孤児や、現地に取り残された孤児たちの様子を多数の写真とともに伝えます。</p> <p>5は、戦争末期の原子爆弾投下で親兄弟を失った原爆孤児たちの様子を多数の写真とともに伝えます。</p>

<p>9</p>	<p>平和を考える戦争遺物</p> <p>1 子どもたちと戦争 2 ある兵士の歩み 3 女たちの戦争 4 沖縄戦 5 広島・長崎・空襲</p> <p>汐文社 2013.6</p> 	<p>地域の博物館などに残されている戦争に関する実物の資料をビジュアルで紹介。</p> <p>1は、日用品やおもちゃ、ゲーム、軍神グッズ、学童疎開の写真や日記といった、子どもたちの生活や学校教育に関係するものを収録する。</p> <p>2は、赤紙、千人針、軍事郵便、遺髪といった、徴兵検査を経て入営・出征してから帰還・戦死するまでの兵士の歩みに関係するものを収録する。</p> <p>3は、戦争柄の着物、婦人雑誌、配給切符といった戦争遺物のなかから、戦前・戦後の女性がどう暮らし、何を考え、行動したかをさぐる。</p>
<p>10</p>	<p>語りつぐ戦争 平和について考える</p> <p>国土社 2012.3</p>	<p>① あの世からの贈りもの 小沢清子/文:松谷春男/絵 太平洋戦争のさなか、俺はルソン島のジャングルで重い病気になり、どんどん弱っていった。「死ぬ前に、もう一度、桜が見たい」というおれに、戦友の須藤は…。</p> <p>② やけあとの競馬うま 木暮正夫/文:おぼまこと/絵 終戦後、いち早く競馬が復活した高崎競馬に、走るたびに一着になるすごい馬があらわれた。その馬は戦争中、空襲のときの非常連絡用に飼われていた馬で…。</p> <p>③ びんたあめあられ 水谷章三/文:長尾みのる/絵 軍隊では、持ち物をひとつでも失くすと検査官のびんたが飛ぶ。ある日、ズボン下を失くした上等兵に、誰かのを盗んでこいと命令された新兵は…。</p> <p>④ 二せきの魚雷艇 坪田理基男/文:津田光郎/絵 二せきの魚雷艇が父島近海を見回り中に、敵の巡洋艦を発見する。見つけた魚雷艇の艇長は「退避」を伝えるが、もう一せきは攻撃に向かって…。</p> <p>戦争の悲惨な現実を語りつぎ、平和について考えるためのお話集。</p>